



JDDnet 大阪では、新型コロナウイルス感染拡大の防止のために延期しておりました「発達障害啓発イベント2020」を開催します。  
今までの枠組みが成立しにくくなっていく「withコロナ」の社会。環境の変化に注視しながら、発達障害のある人への必要な支援が途切れることのないよう、これからも理解と支援を呼び掛ける活動を行っていきます。

発達障害啓発週間 2020 JDDnet 大阪企画

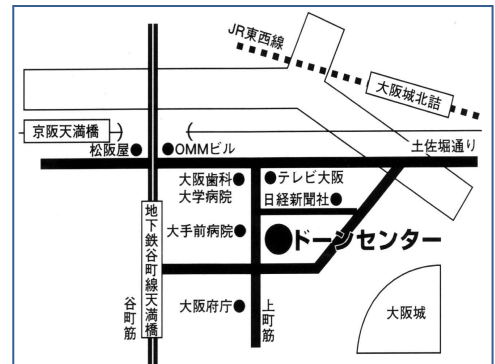
# 発達障害のある大学生への就職支援を考える

日時：9月27日（日）9：40～12：00（9：20受付開始）

会場：ドーンセンター 5F 大会議室2  
（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

新型コロナウイルス感染拡大防止のための施設利用ガイドラインに沿って実施します。

<https://www.dawncenter.jp/thema/info07.pdf>



参加費：一般 1000円  
（JDDnet 会員は、500円）

定員：40名（申し込み先着順）

申込先：メール: [JDDnet-osaka@oasc.jp](mailto:JDDnet-osaka@oasc.jp) FAX: 06-4862-4158

（詳しくは、裏面をご覧ください。）

## プログラム

- 9：40 開会 あいさつ
- 9：45 「大学での学生支援の現状と課題」
  - ・松久 眞実 氏（桃山学院教育大学 教授）
  - ・大谷 朋子 氏（帝塚山学院大学 キャリアセンター）
- 11：00 「就職に不安のある学生への支援を考える  
～「働くカプロジェクト」を通して～」
  - ・窪 貴志 氏（株式会社エンカレッジ 代表取締役）
- 12：00 閉会

主催：日本発達障害ネットワーク大阪（JDDnet 大阪）  
後援：日本発達障害ネットワーク（JDDnet）

今年のテーマは、「発達障害のある学生への就職支援」です。2016年の発達障害者支援法の改定により「社会全体の責任で支援を行う」と定義されました。大学等の高等教育機関においても体制整備が求められ、修学支援は行われるようになってきました。しかし、就職支援については、本人のニーズも多様であり、既存の大学の支援では難しい状況です。どのようにして社会移行（教育から就業へ）を支援していけばいいのでしょうか。先進的な取り組みをされている大学や就労支援機関での実践のお話を伺い、社会移行に向けての必要な支援についてみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

## 申込方法

申込先 メール JDDnet-osaka@oasc.jp

FAX 06-4862-4158

- ※ 必要事項（氏名、連絡先、JDDnet 所属の団体の会員は所属団体名）を明記の上、メールかFAXにてお申し込みください。
- ※ 参加希望者のお名前はすべて書いて下さい。
- ※ 所属団体名（下記記載の参加団体）がない場合は、一般での受付となります。
- ※ 先着順受付で定員（70名）になり次第締め切ります。
- ※ 申し込まれた方には受付番号を連絡先にお送りさせていただきます。携帯電話からのお申し込みの場合、PCからのメールを受け取れるようにしておいてください。
- ※ 申し込みをされてから1週間以上、受付番号の連絡がご確認できない場合は、早めにお問い合わせください。
- ※ 参加費は、当日会場受付にてお支払いください。

日本発達障害ネットワーク(JDDnet)は、発達障害関係の全国および地方の障害者団体や親の会、学会・研究会、職能団体などを含めた幅広いネットワークで、我が国における発達障害を代表する全国組織として従来制度の谷間に置かれ支援の対象となっていなかった、あるいは適切な支援を受けられなかった、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の発達障害のある人および家族の権利と利益の擁護者として、理解啓発・調査研究・政策提言等を行い、発達障害のある人の自立と社会参加の推進に向けて活動を行っています。



JDDnet 大阪は、下記団体が参加して、大阪でのJDDnet エリア活動を進めています。

### 日本発達障害ネットワーク大阪(JDDnet大阪) 参加団体

大阪府臨床心理士会 大阪府作業療法士会 日本感覚統合学会 日本LD学会  
S.E.N.Sの会大阪支部会 大阪自閉スペクトラム症協会  
大阪LD親の会「おたふく会」 大阪LD・軽度発達障害親の会「翼」  
アルクラブ（大阪アスペの会）  
自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス  
＜オブザーバー＞ 大阪府発達障がい者支援センター  
大阪市発達障がい者支援センター  
堺市発達障害者支援センター